

母島

Hahajima

みんなが「らしく」暮らせる、母なる島

港の近くの憩いの場「ガジュ下」に行けば、この島のいつもの光景が待っています。

そこにあるガジュマルの木陰には、名もない今日という日を慈しみ、

共に過ごす喜びを分かち合う島びとが居ます。

海と空の青さに、遠く目をやる大人たちの傍らで、子どもたちは遊び、

大人たちの言葉の端々にある島への愛を、音楽のように心に刻んでいます。

家族のように支え合い、お互いをねぎらう暮らし。美しい自然の恵みを感じ、食卓に並べるしあわせ。

ここにしかない大自然を、生きとし生けるもの全てが「らしく」を生きるこの島は、

人と人の絆を生み育む、母なる島。そして、人間が「にんげんらしく」暮らし続ける島。

都心から南へ1050キロ。東京から一番遠い島、母島。

大事なことは実はとてもシンプル。私たちの心のふるさとが、ここにあります。

島の宝物

(コンセプトを支える事実・特徴)

ヒト

人が人を信用、信頼できる
人と人との繋がり
みんな島が好き
人を大切にするとこ
他人の子どももみんな家族
大切なものに気づく
当たり前にあいさつをする
情け島

モノ

自然に恵まれている
島で食べると何でもおいしい
島でとれるパッションフルーツや
レモン、トマト、マンゴー
ウミガメ
クジラ、イルカ
アウトリガーカヌー
満天の星空
絶景の景色
過ごしやすい気候

コト

本来日本にあった、本当の日本らしさが残っている
最も日本らしいところ
島は疲れない
田舎だけど閉鎖的でない
協調性
許容性高い
ぼーっとしていても許される、最高の贅沢ができる
観光地っぽくないところ

バ

子育てがしやすい
治安が良い
安心感
明るい雰囲気
暮らしが楽
島を離れて初めて知る良さ
島の人のさり気ない気配りのある素晴らしい仕事
日本から最も離れた場所
ゴミが少ない、綺麗